

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年10月31日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年10月31日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【5・6号機滞留水貯留タンク保守管理他散水業務におけるFタンクエリアでのA型バリケード(※)への車両接触について】</p> <p>協力企業作業員が、5・6号機滞留水貯留タンク保守管理他散水業務において、Fタンクエリアにて業務車両を後退中に滞留水配管への接触防止のため設置してあるA型バリケードに接触し、バリケードを破損。 当該箇所近傍の配管等に異常がないことから、接触による滞留水設備への影響はない。 なお、車両接触による人身被害および油漏れなし。 また、破損したA型バリケードについては修理が完了。 現在、原因および再発防止対策について検討中。</p> <p>※ A型バリケード:道路工事や建築現場で、簡易的な区画を作る際に使用される折りたたみ式の柵のこと。</p>	G III	10月25日
2	<p>【公表資料における放射線測定記録の記載の誤りについて】</p> <p>当社社員が、「東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会(第32回)」にて公表予定の「2号機燃料取扱機遠隔操作室調査」に関する記載について、放射線測定の記録に記載の誤りと思われる箇所を確認。その後、測定を実施した協力企業に確認した結果、12箇所に誤りがあることを確認。 上記資料は「廃炉・汚染水・処理水対策チーム会合/事務局会議(第106回)」を元に作成していたため、過去の公表資料を調査したところ、当該資料を含む3つの資料に同様な誤りがあることを確認。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃炉・汚染水・処理水対策チーム会合/事務局会議(第105回) ・東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会(第31回) ・廃炉・汚染水・処理水対策チーム会合/事務局会議(第106回) <p>また、当社ホームページ「福島第一原子力発電所における日々の放射性物質の分析結果」に公表済みの「放射線管理記録(8月25日)(10月19日)」の資料にも誤りがあることを確認。 なお、放射線測定の記録の誤記による安全性への影響はない。 誤りの確認された過去の公表資料については、訂正予定。 現在、原因および再発防止対策について検討中。</p>	G III	10月26日